

4 地方からの便り

・・・全国各地の防火防災活動便り

大災害に備えて！

福島県 相馬広域消防本部



相馬地方の6市町村と相馬広域消防本部では、宮城県沖地震の再来や台風等の大災害に備え、各行政区長等関係者一千名が集い「自主防災組織推進大会」を11月10日（日）に原町市で行いました。

この中で、行政区の自主防災組織結成立100%の鹿島町と飯舘村、優秀自主防災組織の細田地区自主防災自衛団・小沢防災会・小高町四区防災会・塚原地区自主防災会が大会会長より表彰を受けました。

表彰式後、『21世紀の安全なまちづくり～災害の教訓を生かして～』と題して富士常葉大学の吉村秀實教授が講演を行いました。最後に相馬地方を災害から守るため今年度中に自主防災組織の100%結成と推進を誓う大会アピールが採択されました。

会場では、（社）福島県消防設備協会と共に、非常食品等の防災用品・火災警報器等の住宅防火機器・火災から命を守る防災製品の展示と実演も行われ、参加者は、火災の恐ろしさと防火の大切さを再確認するとともに、大災害時に必要な防災用品の知識についても理解した模様です。

大阪国際空港・航空機事故対策総合訓練を実施

大阪府 豊中市消防本部



豊中市消防本部は伊丹市消防局、池田市消防本部などと合同で、10月17日、大阪国際空港内で『C A B 空港を離陸した国内線 A 航空119便ボーイング737型機がフラットトラブル発生のため、同空港に緊急着陸したが、オーバースピードのため滑走路をオーバーランし機体炎上、多数の負傷者が出た模様。』との想定で、航空機事故災害に対応するための指揮統制訓練・消火防炎訓練・人命検索・救出救助訓練・救護搬送訓練が実施されました。

この日訓練に参加した団体等は、47機関・参加人員550名・参加車両60台・参加航空機4機・大型バス1台などで、各機関の連携強化が図られました。

田尻町立ひまわり園で防火教室！

大阪府 泉佐野市消防本部



消防本部では、昨年から田尻町内の火災件数が増加（一昨年は0件・昨年は空港内の1件を含む5件・本年は10月末現在3件）していることと、11月9日からの秋の全国火災予防運動に先駆ける広報の目的で、11月6日、田尻町立心身障害児通園事業である、ひまわり園（高浦和義園長・園児8名）で園児と保護者を対象に、家庭での防火に対する関心を高めるため「防火教室」を開催いたしました。

園児達は、動物が主役で火災を消すアニメーションビデオで防火意識を高め、保護者には「家庭防火」について講演が行われました。その後ひまわり園北側の駐車場まで避難訓練が行われ、その場所で消火器の取り扱い訓練を実施。

園児は、はしご車に体験搭乗すると共にミニ消防車などと記念写真を撮りました。

防火教室に参加した、保護者から「田尻町内では火災がないと思っていたので日頃火災について考えたことも無いし、家庭で話し合ったこともなかったので、火災に対する意識をもつ良い機会となった。」との感想も聞かれました。

いつもお元気ですね

奈良県 西和消防組合消防本部



消防署では毎年、春と秋の火災予防運動の期間中、同消防管内7町に一人で住んでいる70歳以上の高齢者を対象に防火訪問を実施しています。

この防火訪問は今年で19年目を迎え、対象者は、1,700人余にのぼり、今では、消防署の一大イベントとなっています。

当初は、火災予防を意識するあまり、署員はつい難しい話になりがちで、高齢の方々との会話もギョギョウしていたようですが、最近ではお互いにすっかり打ち解けて、署員達の訪問をが楽しみになるまでとなりました。

防火訪問を通じて特に感じるのは、「皆さん高齢にもかかわらず本当に元気ハツラツ」との署員の感想。署員は、この訪問が、単に火災予防のみに留まらず、地域社会の大きな幸せの輪になることを信じ、今秋もハッスル一番、独居高齢者宅を防火訪問しています。

防災フェスティバルを開催

兵庫県 小野市消防本部



10月26日（土）、市内の幼年消防クラブや婦人防災クラブをはじめ、市民等を招き、防災フェスティバル「ふれあい消防おの2002」が開催されました。

フェスティバルでは地震体験やスノーケル車乗車等様々な体験コーナーが設けられ、「普段できない体験ができた」とたいへん好評でした。

幼年消防クラブの防火演技では、たくさんの観衆の中、澁刺とした演技で、防火意識の向上に一役かかっていました。

このフェスティバルの開催により、市民と消防との一体感が生まれ、防災に対する関心をさらに深めてもらうことができたようです。

危険物保安協会が普通救命講習会の実施

島根県 木次町外9町村消防組合雲南消防本部



雲南危険物保安協会では、支部研修活動の一環として、普通救命講習会を開催いたしました。この講習会は救急医療週間に伴ない、危険物施設において災害事故が発生した場合、適切な救命手当のできる従業員を育成し、事業所等における自主保安体制の確立と会員相互の親睦を図ることを目的に開催されたものです。

講習会には108名の協会員が参加し、終始熱心に講義を受け、全員、普通救命講習を修了しました。

「みんなの消防フェスタ2002」を開催

愛媛県 松山市消防局



市民に防火意識を深めてもらう「みんなの消防フェスタ2002」が10月20日（日）市内の総合コミュニティセンターにおいて約3,000名が参加して開催されました。

1992年から毎年ひらいていた「母と子の防火大会」を衣替えし、幅広い層に防火をPRするのが狙いで行われたものです。

会場は屋内・外に分かれ、屋内会場では、優良消防クラブの表彰、少年消防クラブ員の研究発表、地元タレントと女性防火クラブ員との防火トークショー、防火ポスターの展示、クイズラリー等が行われ、大変好評でした。

また、屋外会場の広場では、雨にもかかわらず、多数の親子連れで賑わい、消防車の試乗や濃煙体験など、普段味わうことのないことを体験し、消防に対する興味を一層深めた様子でした。

第6回甲府地区幼年婦人消防大会

山梨県 甲府地区広域行政事務組合消防本部



(財)日本防火協会との共催で、平成14年11月8日(金)甲府市総合市民会館において、幼年・婦人防火クラブの会員1,800名の参加のもと、「幼年婦人消防大会」が開催されました。

幼年消防クラブ員の寸劇や鼓笛演奏などで、防火防災をPRし、「わたしたちは、絶対に火あそびはしません」と元気よく誓いました。

“ゆとり・消防フェスタ”2002

三重県 伊賀南部消防組合消防本部



名張市消防フェスティバルが、去る11月9～10日の2日間にわたり市役所庁舎前広場で行われました。幼年・少年消防クラブ員や婦人防火クラブ員約1,200名、一般市民28,000人が参加。

毎年恒例の行事として市民の間に浸透し、集客力は大きく向上して現在では子供から大人までがふれあい、体験しながら楽しめるイベントとして火災予防の啓発を推進する上で重要な行事となっています。

この行事では、幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ員が法被やクラブ員の制服を着て火災予防をアピールし、啓蒙普及におおいに効果をあげていました。

消防フェスタの内容は、アトラクションと体験展示コーナーに分かれ、アトラクションでは幼年消防クラブがかわいい法被を着ての鼓笛演奏で、見学の市民も多く、火災予防の啓蒙効果は大なるものがありました。さらに防火クラブ組織の拡充にもつながるものと思われます。この他にも、幼年・少年・婦人防火クラブによる防火もちつき大会、消防署の火災・応急手当の啓発も行われました。

一方、体験コーナーでは消火器による初期消火、出火原因上位のこんろ火災の減少を目指すためのてんぷら油火災消火が体験でき、実体験により、いざという時に役立つことを学んだようです。

また、多くの方がたが煙体験ハウスにより自分の命を守るための煙からの脱出法を身をもって体験していました。体験者からの感想を聞きますと、「これほど恐ろしいとは知らなかった。」と驚きの声があがりました。

消防フェスタには、多くの市民が参加し、楽しみながらも身をもって体験できるコーナー等があり、市民等は、火災の恐ろしさを学び、よりいっそう火災予防に努めることとでしょう。

第18回合同初期消火技術競技大会

岐阜県 中濃消防組合消防本部



第18回合同初期消火技術競技大会が10月30日(水)関市塔ノ洞の勤労福祉センター北駐車場で開かれ、中濃地区消防組合管内7市町村の事業所や婦人防火クラブ員(147名)も参加し、初期消火の技術を競い合いました。

大会では、粉末消火器消火競技、屋内消火器栓注水競技など5部門に分かれて競技が行われ、競技会を通じ、女性防火クラブ員をはじめ、危険物施設、事業所の防火管理の関係者に火災の怖さ、消火の難しさを再認識してもらうことができ、適切な通報及び粉末消火器、屋内消火栓、水バケツを使用した初期消火技術の習得に役立てられました。

第17回少年婦人防火祭「防火のつどい」

兵庫県 西脇多可消防本部



西脇多可消防本部では、平成14年10月19日(土)黒田庄町町民体育館において、幼・少年消防クラブ、婦人防火クラブ員650名の参加のもと、「防火のつどい」が開催されました。

この防火のつどいの目的は、幼・少年期から正しい火災予防の知識を養い、また、火気を取り扱う機会が多い主婦層にも火災予防思想の普及を図るために、消防フェアを開催し、地域ぐるみの防火防災体制を確立することを目的に行われました。

幼年消防クラブの防火演技や、少年消防クラブの初期消火及び婦人防火クラブの人達の「みんなで力を合わせてワッショイ」では消防ホースを使用しての綱引き等が行れ、幼・少年婦人一体となって防火防災を町民に訴えました。

目次

[1 消防審議会開催さる](#)

[2 平成14年度事業の自主防災リーダー研修会・指定の6府県での開催は、全て順調に終了](#)

[3 婦人防火クラブ救急講習モデル地域・指定地域の全てで実施](#)

4 地方からの便り

[5 あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)

[6 日本防火協会からのお知らせ](#)